

未来へつなぐ 伝統行事

各地区・集落でお盆行事

北秋田市内では、お盆の行事として各地域に伝わる伝統芸能が披露され、先祖の霊を慰めるとともに地域住民や帰省客を楽しませました。
また、合川地区や阿仁地区では恒例のイベントが開催され、多くの来場者でにぎわいました。

8月14日 第41回合川まと火 第32回合川ふるさとまつり



合川中女子生徒も参加した「通り踊り」

第41回合川まと火、第32回合川ふるさとまつりが8月14日、合川橋付近と健康広場を会場に開催され、市民や帰省客らが「まと火」や「通り踊り」などで行く夏の夜を楽しみました。

開会セレモニーでは、実行委員会を代表して合川ふるさとまつりの金森勝三実行委員長が「今年も、東日本大震災で犠牲になった方も合わせて合川まと火で供養できればと思います。また、合川ふるさとまつりでは、この地域にもこんな楽しいことがあると感じていただきたい。今日は多めに盛り上がりましょう」と歓迎のあいさつ。
阿仁川堤防で行われた「合川まと火」は、合川中学校男子生徒の手によって次々に灯され、川面に映るまと火は幻想的な光景を一層引き立てていました。

8月16日

第50回記念阿仁の花火と灯籠流し



「よさとせ歌舞舞」、阿仁合小学校有志による「よつちよれ」、阿仁中学生有志による「ニューソーラン」、比立内青年会による「比立内獅子踊り」などが披露されました。
午後7時30分に慰霊花火が打ち上げられて始まった大会では、主催者を代表して菊地実行委員長が「阿仁の花火も回を重ね、半世紀を迎えることができました。これも皆様のご支援により開催できたもので、心から感謝とお礼を申し上げます」などあいさつ。開始号砲が鳴り響いたあと、大スターマインをはじめ、御祝いや慰霊のメモリアル花火など、色とりどりの花火が次々と打ち上げられました。

第50回記念阿仁の花火と灯籠流しが8月16日、阿仁河川公園で開かれ、市内外から訪れた大勢の見物客が灯籠の光と夜空の花火が織りなす幽玄の世界に浸りました。
午後4時から阿仁庁舎前で行われた、50回を記念したアトラクションは、秋田大学生による



阿仁川に流した先祖を供養する灯籠



阿仁庁舎前で行われた50周年記念のイベント



▲比立内青年会による「比立内獅子踊り」(8/14)



▲坊沢獅子踊保存会による「坊沢獅子踊り」(8/14)



▲阿仁前田獅子踊保存会による「阿仁前田獅子踊り」(8/13)



▲浦田若勢会による「浦田獅子踊り」(8/13)



▲李岱駒踊り会による「李岱駒踊り」(8/13)